



2023年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2022年11月10日

上場会社名 大日精化工業株式会社 上場取引所 東
 コード番号 4116 URL <https://www.daicolor.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 高橋 弘二
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 最高財務責任者 (氏名) 有江 朋之 TEL 03-3662-1638
 四半期報告書提出予定日 2022年11月11日 配当支払開始予定日 2022年12月9日
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有
 四半期決算説明会開催の有無：有（機関投資家・アナリスト向け）

(百万円未満切捨て)

1. 2023年3月期第2四半期の連結業績（2022年4月1日～2022年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第2四半期	62,087	3.0	1,791	△61.1	2,457	△51.0	1,620	△52.5
2022年3月期第2四半期	60,258	—	4,609	411.3	5,019	283.4	3,412	57.8

(注) 包括利益 2023年3月期第2四半期 6,394百万円 (26.3%) 2022年3月期第2四半期 5,064百万円 (126.9%)

(注) 2022年3月期第1四半期より「収益認識に関する会計基準」（企業会計基準第29号）等を適用しており、上記の連結経営成績は、当該会計基準等を適用した後の金額となっております。このため、2022年3月期第2四半期における「売上高」の対前年同四半期増減率は記載しておりません。

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第2四半期	87.68	—
2022年3月期第2四半期	184.67	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年3月期第2四半期	203,398	116,092	55.9
2022年3月期	196,709	110,487	55.1

(参考) 自己資本 2023年3月期第2四半期 113,781百万円 2022年3月期 108,447百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期	—	40.00	—	40.00	80.00
2023年3月期	—	40.00	—	—	—
2023年3月期（予想）	—	—	—	40.00	80.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2023年3月期の連結業績予想（2022年4月1日～2023年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	123,000	0.9	4,100	△44.9	4,800	△42.3	3,400	△44.9	183.87

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料 8 ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項」をご覧ください。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2023年3月期2Q	18,613,110株	2022年3月期	18,613,110株
② 期末自己株式数	2023年3月期2Q	122,008株	2022年3月期	133,494株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2023年3月期2Q	18,485,326株	2022年3月期2Q	18,476,500株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料 3 ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

・当社は以下のとおり決算説明会を開催する予定です。この説明会で配布する資料等については、前日までに東京証券取引所及び当社ウェブサイトにて開示・掲載する予定です。

日時：2022年12月8日(木)

概要：機関投資家・アナリスト向け決算説明会

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(会計方針の変更)	8
(セグメント情報)	9
(収益認識関係)	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間の当社グループを取り巻く経済環境は、新型コロナウイルス感染症による行動制限が徐々に緩和され人流が活発化する一方、ウクライナ情勢長期化による原材料価格の高騰にアメリカ金利上昇による円安進行が拍車をかけ、景気の先行きは不透明な状況となっております。

このような経済環境のもとで、当第2四半期連結累計期間の売上高は、引き続き自動車生産減産の影響により輸送業界向け並びに液晶パネルの在庫調整及び巣ごもり需要の減少により情報・電子業界向けの売上が低調でしたが、包装業界向けの飲料用途グラビアインキが堅調に推移、また、全般的に販売価格の見直しを進めた結果、620億8千7百万円（前年同期比3.0%増）の増収となりました。一方、営業利益は、販売価格の見直しを進めました。が、原材料価格高騰の影響を吸収しきれず17億9千1百万円（同61.1%減）、経常利益は24億5千7百万円（同51.0%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は、16億2千万円（同52.5%減）と減益になりました。

次に報告セグメントの業績についてご報告いたします。

(カラー&ファンクショナル プロダクト)

当事業は、顔料、繊維用着色剤、プラスチック用着色剤、コンパウンド、顔料分散体、機能性材料の製造・販売を行っております。

情報電子業界向けの顔料及び分散体の売上高は、オフィス事務機器用途はコロナ禍からの回復が続きましたが、ディスプレイ用途は、液晶パネルの在庫調整及び巣ごもり需要の減少により低調となりました。家電OA機器及び車両業界向けのコンパウンド・着色剤の売上高は、国内は半導体不足等による自動車生産減産の影響を受け低調となりましたが、海外は、中国華南地区、東南アジアなどが堅調に推移しました。

これらの結果、当セグメントの売上高は、344億9千1百万円（同0.6%減）と減収となり、営業利益は14億5千6百万円（同50.4%減）と減益になりました。

(ポリマー&コーティング マテリアル)

当事業は、UV・EBコート剤、ウレタン樹脂、天然物由来高分子の製造・販売を行っております。

ウレタン樹脂の売上高は、自動車生産減産の影響により車両業界向けを始めとして全般的に低調に推移しました。情報電子業界向けのコーティング剤は、ディスプレイ用途が液晶パネルの在庫調整及び巣ごもり需要の減少により低調となりました。

これらの結果、当セグメントの売上高は、119億8千4百万円（同2.6%増）と増収になりましたが、営業利益は10億4千万円（同44.6%減）と減益になりました。

(グラフィック&プリンティング マテリアル)

当事業は、グラビアインキ、オフセットインキの製造・販売を行っております。

包装業界向けのグラビアインキは、飲料ラベル用途等が堅調に推移しました。オフセットインキは、需要減少により低調に推移しました。

これらの結果、当セグメントの売上高は155億8千1百万円（同12.6%増）と増収になりましたが、原材料価格高騰及び新工場移転費用の計上により、営業損失は7億1千1百万円（前年同期は2億1千4百万円の営業損失）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第2四半期連結会計期間末における資産合計は2,033億9千8百万円となり、前連結会計年度末と比べ66億8千9百万円増加しました。これは主に「受取手形及び売掛金」及び「棚卸資産」が増加したことによるものであります。

(負債)

当第2四半期連結会計期間末における負債合計は873億6百万円となり、前連結会計年度末と比べ10億8千4百万円増加しました。これは主に「支払手形及び買掛金」が増加したことによるものであります。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産合計は1,160億9千2百万円となり、前連結会計年度末と比べ56億5百万円増加いたしました。これは主に「為替換算調整勘定」が増加したことなどによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第2四半期連結累計期間の業績及び今後の見通しを踏まえ、2022年5月13日に公表いたしました通期連結業績予想を修正しております。

詳細につきましては、本日（2022年11月10日）に開示いたしました「連結業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2022年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	26,346	25,981
受取手形及び売掛金	51,539	52,813
棚卸資産	31,714	36,094
その他	1,823	1,880
貸倒引当金	△80	△88
流動資産合計	111,343	116,682
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	21,452	21,645
土地	14,013	13,878
その他(純額)	16,882	17,446
有形固定資産合計	52,348	52,970
無形固定資産		
その他	1,911	1,680
無形固定資産合計	1,911	1,680
投資その他の資産		
投資有価証券	18,568	19,295
退職給付に係る資産	9,414	9,608
その他	3,144	3,183
貸倒引当金	△21	△21
投資その他の資産合計	31,106	32,066
固定資産合計	85,366	86,716
資産合計	196,709	203,398
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	31,939	34,125
短期借入金	11,460	11,167
1年内返済予定の長期借入金	6,918	6,415
未払法人税等	1,495	719
賞与引当金	2,047	2,119
関係会社整理損失引当金	8	—
環境対策引当金	31	14
その他	5,551	5,408
流動負債合計	59,452	59,970
固定負債		
長期借入金	13,882	14,034
環境対策引当金	2,981	2,974
退職給付に係る負債	8,281	8,457
その他	1,624	1,870
固定負債合計	26,769	27,336
負債合計	86,222	87,306

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2022年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	10,039	10,039
資本剰余金	9,773	9,768
利益剰余金	81,265	82,144
自己株式	△315	△287
株主資本合計	100,763	101,665
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	6,435	6,772
為替換算調整勘定	592	4,666
退職給付に係る調整累計額	656	677
その他の包括利益累計額合計	7,684	12,116
非支配株主持分	2,039	2,310
純資産合計	110,487	116,092
負債純資産合計	196,709	203,398

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
売上高	60,258	62,087
売上原価	46,578	50,921
売上総利益	13,680	11,165
販売費及び一般管理費	9,070	9,373
営業利益	4,609	1,791
営業外収益		
受取利息	43	53
受取配当金	184	221
持分法による投資利益	86	—
為替差益	—	246
その他	402	419
営業外収益合計	716	940
営業外費用		
支払利息	182	149
持分法による投資損失	—	3
その他	124	121
営業外費用合計	306	275
経常利益	5,019	2,457
特別利益		
固定資産売却益	0	45
投資有価証券売却益	6	13
特別利益合計	6	58
特別損失		
固定資産除却損	59	79
投資有価証券評価損	—	13
新型コロナウイルス感染症による損失	—	112
その他	11	3
特別損失合計	71	208
税金等調整前四半期純利益	4,953	2,306
法人税、住民税及び事業税	1,500	493
法人税等調整額	△58	155
法人税等合計	1,442	648
四半期純利益	3,511	1,658
非支配株主に帰属する四半期純利益	99	37
親会社株主に帰属する四半期純利益	3,412	1,620

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
四半期純利益	3,511	1,658
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△214	335
為替換算調整勘定	1,498	4,111
退職給付に係る調整額	133	21
持分法適用会社に対する持分相当額	135	267
その他の包括利益合計	1,553	4,735
四半期包括利益	5,064	6,394
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	4,852	6,052
非支配株主に係る四半期包括利益	211	341

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(時価の算定に関する会計基準の適用指針の適用)

「時価の算定に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第31号 2021年6月17日。以下「時価算定会計基準適用指針」という。)を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準適用指針第27-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準適用指針が定める新たな会計方針を、将来にわたって適用することといたしました。なお、四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

(セグメント情報)

I 前第2四半期連結累計期間(自2021年4月1日 至2021年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他	四半期連結 損益計算書 計上額
	カラー& ファンクショナル プロダクト	ポリマー& コーティング マテリアル	グラフィック& プリンティング マテリアル	計		
売上高						
(1)外部顧客への売上高	34,698	11,682	13,843	60,225	33	60,258
(2)セグメント間の内部 売上高又は振替高	73	172	—	246	(246)	—
計	34,772	11,854	13,843	60,471	(213)	60,258
セグメント利益 (営業利益) (△損失)	2,935	1,876	△214	4,597	12	4,609

(注) 「その他」区分は、調整額及び報告セグメントに含まれない事業であり、当社グループ会社等への不動産管理などの役務提供を営む会社を含んでおります。

2. 顧客との契約から生じる収益を分解した情報

<地域別><契約別>

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他	四半期連結 損益計算書 計上額
	カラー& ファンクショナル プロダクト	ポリマー& コーティング マテリアル	グラフィック& プリンティング マテリアル	計		
日本	25,157	8,480	10,725	44,363	33	44,397
アジア	7,492	1,820	2,910	12,223	—	12,223
その他	2,048	1,382	207	3,638	—	3,638
計	34,698	11,682	13,843	60,225	33	60,258
顧客との契約から 生じる収益	34,698	11,682	13,843	60,225	24	60,249
その他の収益	—	—	—	—	8	8
外部顧客への売上高	34,698	11,682	13,843	60,225	33	60,258

<有償受給取引による売上高への影響額>

(単位：百万円)

	報告セグメント				その他	四半期連結 損益計算書 計上額
	カラー& ファンクショナル プロダクト	ポリマー& コーティング マテリアル	グラフィック& プリンティング マテリアル	計		
外部顧客への売上高 (総額)	56,989	11,714	13,845	82,550	33	82,584
有償受給取引による 売上相殺額	△22,291	△32	△2	△22,325	—	△22,325
外部顧客への売上高 (純額)	34,698	11,682	13,843	60,225	33	60,258

II 当第2四半期連結累計期間(自2022年4月1日 至2022年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				その他	四半期連結 損益計算書 計上額
	カラー& ファンクショナル プロダクト	ポリマー& コーティング マテリアル	グラフィック& プリンティング マテリアル	計		
売上高						
(1)外部顧客への売上高	34,491	11,984	15,581	62,057	30	62,087
(2)セグメント間の内部 売上高又は振替高	82	242	—	324	(324)	—
計	34,573	12,227	15,581	62,382	(294)	62,087
セグメント利益 (営業利益) (△損失)	1,456	1,040	△711	1,784	7	1,791

(注) 「その他」区分は、調整額及び報告セグメントに含まれない事業であり、当社グループ会社等への不動産管理などの役務提供を営む会社を含んでおります。

2. 顧客との契約から生じる収益を分解した情報

<地域別><契約別>

(単位：百万円)

	報告セグメント				その他	四半期連結 損益計算書 計上額
	カラー& ファンクショナル プロダクト	ポリマー& コーティング マテリアル	グラフィック& プリンティング マテリアル	計		
日本	24,599	8,561	11,647	44,807	30	44,837
アジア	7,528	1,877	3,670	13,076	—	13,076
その他	2,363	1,546	263	4,173	—	4,173
計	34,491	11,984	15,581	62,057	30	62,087
顧客との契約から 生じる収益	34,491	11,984	15,581	62,057	21	62,078
その他の収益	—	—	—	—	8	8
外部顧客への売上高	34,491	11,984	15,581	62,057	30	62,087

<有償受給取引による売上高への影響額>

(単位：百万円)

	報告セグメント				その他	四半期連結 損益計算書 計上額
	カラー& ファンクショナル プロダクト	ポリマー& コーティング マテリアル	グラフィック& プリンティング マテリアル	計		
外部顧客への売上高 (総額)	57,003	12,015	15,584	84,603	30	84,634
有償受給取引による 売上相殺額	△22,512	△30	△3	△22,546	—	△22,546
外部顧客への売上高 (純額)	34,491	11,984	15,581	62,057	30	62,087

(収益認識関係)

顧客との契約から生じる収益を分解した情報は、「(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(セグメント情報)」に記載のとおりであります。